

Compass

2024年11月 Vol.14

薬学部3年生：中村、山崎、2年生：松尾、1年生：大西、河合、能宗

岡山市立市民病院で鍛治園誠先生にお話を伺いました！



岡山市立市民病院 3つの特徴

- ・岡山市や近隣地域の住民が安全に安心に暮らし、健康を維持できるような診療を心掛けている
- ・「断らない救急」に努めており、24時間365日すべての救急患者の受け入れや初期診療を目標に「岡山ER」の運用を行っている
- ・役割として、「救急」「災害」「教育」の3つの使命を掲げている

基本理念

心の通い合う医療の提供
質の高い安全な医療の提供
健全で自立した経営と働きやすい職場

お話を伺った現場の薬剤師の先生 鍛治園 誠 先生（岡山市立市民病院）



熊本大学薬学部を卒業後、岡山大学大学院で学位を取得。
18年間がん治療に携わっており、現在は岡山市立市民病院でがん専門薬剤師として活躍中。
日本医療薬学会 日本医療薬学会がん専門薬剤師認定制度委員会優秀症例賞をはじめ、数多く受賞している。

がん専門薬剤師ってどんな薬剤師？



がん専門薬剤師になるためには？

- ・研修施設での5年以上の研修をはじめ、研修会への参加、がん治療での実務経験、学会による認定試験に合格する必要がある



薬剤師と専門薬剤師は何が違うの？

- ・後輩薬剤師などに対して**指導的な立場**になる
- ・がん専門薬剤師による通院で抗がん薬治療を受ける患者の薬学的管理は、診療報酬（医療行為などに対する対価であり、全額医療機関の収益になる）加算の対象となる
- ・新薬などの情報が集まりやすい → 新しい抗がん薬治療を勉強しやすい



チーム医療での専門薬剤師の役割は？

- ・がん専門薬剤師はがんについての専門的な知識を持っているため、**医師とより高度な意見交換**をすることができ、**多職種から頼りにされる**ことが多い。



薬剤師外来ってなんだろう？

薬剤師外来とは：通院治療（外来治療）で**医師の診察前に薬剤師が面談を実施して服薬状況や副作用を確認**すること



QOL（生活の質）は入院＜通院（外来）

外来治療はQOLの向上につながる。働きながら治療を続ける人も多く、外来でがん治療を受ける人が増えている。

【通院での抗がん薬治療（外来化学療法）の流れ】

初回

原則入院（1週間程度）
⇒ 副作用などのチェック

2回目

外来に切り替え

来院

この時間を利用して
薬剤師と面談する

採血

診察

点滴

約1時間



カルテに面談内容を記載して
医師の負担を減らします

- ・別の病院でもらっている薬があるか
- ・健康食品は飲んでいるか
- ・薬の副作用が出ていないか
- ・アレルギーはないか
- ・薬はきちんと飲んでいるか

薬の飲み合わせ
（相互作用）を確認

薬剤師は外来化学療法にどれくらい関わっているの？

- ・全国的に見て、薬剤師外来はまだ一般的ではない。病院薬剤師の人員不足により、マンパワーを充てることができないことが一番大きな原因。薬剤師に代わってAIや機械が行う業務が増えれば、薬剤師外来が広まっていく余地は十分ある。

どうなってるの？抗がん薬治療

抗がん薬治療は、色々な薬を組み合わせるため、投与には沢山のルールがあり、とても複雑！そのため、間違いが起こらないようにするため「レジメン」を使用して管理している。



レジメンってなんだろう？

薬剤の用法や用量、治療期間を記載した治療計画のこと。
あらかじめ治療の仕組みを作っておき、電子カルテに登録しておくことで、医療ミスを減らすことができる。

★岡山市立市民病院のレジメンの例（大腸がん）

診療科	外科								
レジメン登録番号	02-04-0007	1コースの期間(2コースまでの標準期間)	14日						
レジメン名	mFOLFOX6(外来インキュバー)	総コース数	999回(10まで)						
対象疾患	Colorectal ca.								
投与順序	薬剤名+溶剤濃(用量mL)	1回投与量	投与上限量	1日投与回数	投与方法	ルート(主要側管など)	投与時間	投与日	備考
1	ラクタールの静注バッグ 1mg/50mL	1本					5分	day 1	リザーバーより
	デキスト 8.6mg	1V					day 1		
2	5%ブドウ糖液 100ml	1本		1回	1回	中心静脈注射(主官より)	day 1	day 1	流し後オキサリプラチンつなぐ
3	5%ブドウ糖液 250ml オキサリプラチン 400mg/100ml	1本 250mg/100ml				主官より	2時間	day 1	患者側近位端より
4	5%ブドウ糖液 250ml レボホリナート 200mg/100ml	1本 200mg/100ml		1回	1回	中心静脈注射(主官より)	2時間	day 1	オキサリプラチンと同時に
5	5%ブドウ糖液 100ml フルオロウラシル 400mg/100ml	1本 400mg/100ml				主官より	10分	day 1	
6	5%ブドウ糖液 100ml	1本		1回	1回	中心静脈注射(側管より)	10分	day 1	
7	生食 20ml フルオロウラシル 400mg/100ml ヘパリンナトリウム注 3ml	240mg/100ml 3ml					46時間	day 1	インキュバーキープで全140分になるよう、最終10分必要
8	5%ブドウ糖液 100ml フルオロウラシル 400mg/100ml	1本 400mg/100ml		1回	1回	中心静脈注射(側管より)	day 1	day 1	

吐き気止め

抗がん薬

抗がん薬

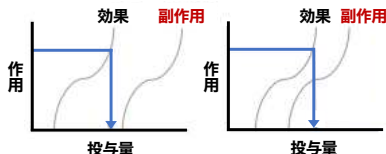
抗がん薬



抗がん薬はどうして副作用が多いの？

<一般薬>

<抗がん薬>



抗がん薬は一般薬に比べ、効果が得られる投与量と副作用が起こる投与量が近い

↓
抗がん薬は副作用が起こりやすい！

患者さんとの関りで大切にしていること

言葉の選び方(伝え方)に気をつける

例えば、麻薬(医療用麻薬)という言葉を使い過ぎないようにしているが、ただ1回は必ず「(医療用)麻薬」であることをはっきりと伝えるようにしている。麻薬と聞くと、とても危険な薬のように聞こえるが、**どのようなお薬が丁寧に伝える**ことで薬の性質について正しく理解してもらえるように努め、**患者さんに納得してもらえるような説明**を心掛けている。



医療用麻薬は、がん患者さんの痛み(がん性疼痛)や手術時の痛みを抑える目的などで使用されます。



患者さんに寄り添う

患者さんのことをしっかり名前呼び、**薬についての会話だけではなく、患者さんの日常のお話も聞いたり話したりするように心がけている**。付き添いのご家族様に対してもしっかりと寄り添い、丁寧な説明を心がけている。患者さんとお話はしっかりとメモに残し、次の面談で活かすようにしている。



↑ 病院の1階ロビーに置いてあり、だれでも気軽に相談できるよう工夫されていました!!

患者さんに薬剤師として成長させていただく

患者さんに何かあっても冷静さを保つことが重要であり、そのうえで**患者一人ひとりの経験から学び、今後の患者ケアに活かすことで、がん専門薬剤師としてのスキルを向上させる努力を続けている**。薬剤師外来は患者さんにとってより良い治療を提供するために大切な時間の1つで、**患者さんと信頼関係を築いて、精神的なサポートもしている**ことが分かりました。

Q&A 私たちのギモンを聞いてみました！

Q. 岡山市立市民病院の特色として救急医療を挙げられていますが、薬剤師は救急医療にどのように携わっていますか？

A. 薬の濃度や投与速度を考えて医師に提案しています。また、医師との薬物治療に関するディスカッションを行うことでも薬剤師としての力を発揮しています。救急医療では迅速な対応が求められるため、冷静に対応することが重要です。

Q. 外来化学療法を受けて帰宅後の患者さんはどのようにフォローアップしていますか？

A. 電話で自宅での様子を確認することもあります。特に、痛みに対して医療用麻薬を服用している患者さんには薬剤師から電話をかけて痛みや副作用などを確認したり、調剤薬局と連携してこまめに患者さんの状況を確認しています。

Q. つらい副作用がある薬を使う場合は患者さんにどのように伝えていきますか？

A. 患者さんが不安に思ったり、嫌がるような言葉は使わず、日常生活を送るための安全な薬であることを伝えていきます。薬を飲むことを強いることはせず、飲んでみて副作用などが気になる場合は服用をやめることもできることを伝えていきます。



今回の訪問で私たちが学んだこと

がん専門薬剤師が、どのように病院で働いていて、専門家だからこそできることはどういったことなのかを知りたいと思い、病院を訪問させていただきました。今回の訪問で見学させていただいた中で、薬剤師外来のお仕事に印象的でした。専門知識を使うことはもちろん、患者さんやご家族に寄り添う「コミュニケーション能力」や患者さんの変化などをしっかり観察する「洞察力」など、薬剤師は様々な面で薬を通じて患者さんを支えていることを学ぶことができました。



鍛冶園 誠 先生、岡山市立市民病院の皆さん ご協力ありがとうございました！！